

大宅中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

9年間の
教育目標

みんなとともに学び、たくましく生きる子どもの育成

小中一貫した指導の重点

確かな学力の育成に向けての取組

生徒
自ら課題を見つけ、身につけた学
力を活かして課題を解決できる

- * 進路実現に向けた学力の充実
- * 学びを活かす
- ・発展学習の充実
- ・個性・能力の伸長
- ・自学自習の充実
- * 英語力の発展
- ・場面に応じた実践的なコミュニケーション能力の育成

豊かな心の育成に向けての取組

- * 自己肯定感、自己有用感の確立をめざす
- ・自らの生きる意味、自己の存在価値を考えられる生徒
- ・体験活動を通して、社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力をもった生徒
- ・法やきまりの意義の理解や公德心をもった生徒

健やかな身体の育成に向けての取組

- * 自らの心身の健康に関心を持ち、主体的に健康的な生活を送る態度の育成。
- * 運動経験の拡大
- * 避難訓練、交通教室等を通しての自助共助の理解や危険予知能力の伸長

小学校から中学校へのなめらかな接続を意識する

基本的な学習習慣を身につけ、意欲的に学習できる児童

- * 小中をつなぐ学力の習得・活用
- * 学び方を学ぶ
- ・基礎・基本の徹底
- ・家庭学習の工夫、充実
- * 英語力の基礎
- ・※6つのポイントを意識したコミュニケーションの活用

- * 自己肯定感、自己有用感の高揚をめざす
- ・他者の視点に対する理解ができる児童
- ・自他の尊重の意識や他者への思いやりをもった児童
- ・集団における役割の自覚や主体的な責任意識をもった児童
- ・規範意識をもった児童

- * 望ましい生活習慣の実践
- * 運動経験の拡大
- * 避難訓練、交通教室等における安全確保の理解や危険予測と適切な行動力育成

学習のきまりが分かり、進んで学習できる児童

- * 基礎・基本の学力の獲得・定着
- * 学びの基盤づくり
- ・読み、書き、計算の習得
- ・基本的学習習慣の確立
- ・家庭学習の習慣づけ
- * 英語力の基盤
- ・※6つのポイントを意識したコミュニケーションの定着

- * 自己肯定感、自己有用感の形成をめざす
- ・思いやりの心をもった児童
- ・感謝の心をもった児童
- ・相手の気持ちを考える児童
- ・規範意識の基礎となる集団や社会のルールを守る態度をもった児童
- ・自然や美しいものに感動する心などをもった児童

- * 早寝・早起き・朝ごはんの実践
- * 遊びを通した運動経験、体力づくり
- * 学校生活での安心安全の理解
- * 避難訓練、交通教室等の意義理解

※ 6つのポイント

- ① Keep your smile
- ② Eye contact
- ③ With gesture
- ④ Clear voice
- ⑤ Reaction
- ⑥ Active listening

家庭 家庭との連携を推進するため、「家庭学習の手引き」などを用いて、家庭学習の充実を図る。

地域 地域の理解と協力を得た開かれた学校づくり。地域活動への積極的な参加啓発。

基本的な構え 小中学校は、地域・家庭と一体となって児童生徒を育てる